

【様式1】

<p>団体名 <b>与那原町立与那原東幼稚園</b></p>	<p>連絡先 TEL: 098-945-1541 Eメール:</p>
------------------------------------	--

1 実践事項 (①「幼・こ・小・中・高・地域・関係団体との連携」)

『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を手掛かりに

2 実践内容

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理論研修を行い、日々の保育実践において遊びを通して育まれる学びを読み取るための方法を探る。(エピソード記述を通して)
- ・教育課程などの指導計画を自分事として捉えなおすことを通して、遊びを通した総合的な指導の中で一体的に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が育まれるような保育実践の実現のために必要な環境構成や援助の方法を探る。
- ・小学校の教師との連携の場において、幼児の成長や教師の働き掛けの意図を伝え、幼児の姿を通して小学校以降の児童の姿とのつながりを見据えた育ちを共有するための伝達方法を探る。

3 取り組みの一部紹介 <学びを読み取るための方法>の例



4 成果

- ・遊びを通して育まれる学びを読み取るためにエピソード記述を行うことで、幼児理解が深まり、一人一人の幼児に応じた環境の再構成や援助の工夫を行うことができた。
- ・教育課程などの指導計画を自分事として捉えなおしたことで、遊びを通して行う総合的な指導について理解が深まり、保育実践においても幼児期に育みたい資質・能力や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との多面的なつながりを意識しながら環境構成や援助を行うことができた。
- ・遊びの中の学びを読み取り、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とつなぎ合わせていくことで、遊びの中の学びが可視化され、小学校の教師と幼児の姿を通して育ちを共有する方法の手立てとなった。

5 課題

- ・教師自身が遊びの中の学びを読み取るための方法として取り組んできたエピソード記述やドキュメンテーションなどを活用して、小学校の教師や保護者等への伝え方を探る。